

頸城油田の 盛衰 日本一の 手掘り技術



玄藤寺油田[部分] (上越市公文書センター所蔵)

2023

7.15_土 ~ 10.29_日

開館時間：午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

※ただし、8/12(土)、8/14(月)、9/24(日)は開館

観覧料：一般510円(410円)、小中高生260円(210円)

※()は20人以上の団体料金

※幼児および市内の学校に通う小中学生は無料

※本料金で常設展もご覧いただけます。

上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7(高田城址公園内)

Tel.025-524-3120 Fax.025-522-7205

URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>



頸城油田の盛衰

日本一の手掘り技術

古代「燃える水」として朝廷に献上された越後の石油(草生水)は、江戸時代の終わりから明治時代にかけて地域の産業の柱へと成長を遂げていきます。江戸時代の終わりには、深さ200メートルに達する井戸を手掘りする技術が上越市の板倉区と清里区にまたがる玄藤寺油田で生まれていました。この玄藤寺油田は、明治時代に石油ランプが全国的に普及すると、日本を代表する油田の一つとして大きな注目を集め、明治11年(1878)の明治天皇北陸巡幸をきっかけに政府の援助が約束され、日本で初めてとなる送油鉄管(パイプライン)が敷設されました。

本展では、玄藤寺油田をはじめ、牧油田、名立飛山油田、郷津油田など、頸城一円へと広がった「頸城油田」について、上越市内に残る文書資料と民俗資料から紹介します。



土掘り道具

シヨイダル



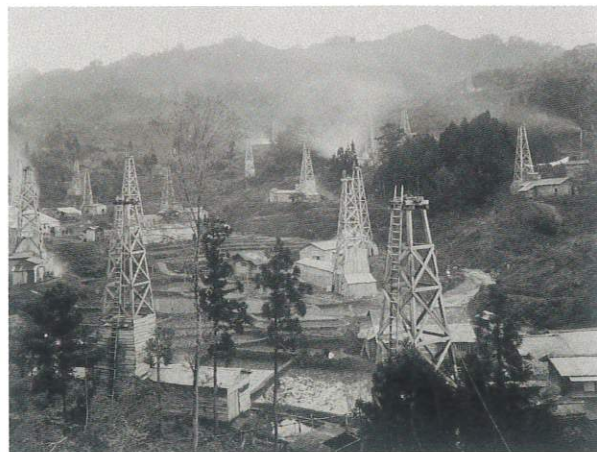
つるはし等

学芸員による
展示解説会

日時：7/29(日)、8/6(日)、8/26(日)
10:30～11:30
参加費：無料(ただし、観覧料が必要)
※申し込みは不要です。



玄藤寺油田(上越市公文書センター所蔵)



牧・榑池油田(上越市牧歴史民俗資料館所蔵)

交通案内

【公共交通機関でお越しの方】

- ・北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅前」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車「高田駅前案内所」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・JR東日本信越本線直江津駅下車「直江津駅前」から「中央病院行」バスで「高田城址公園」降車、徒歩5分。

【自家用車でお越しの方】

- ・北陸自動車道から上越IC～国道18号線 鴨島立体交差点右折、高田城址公園内まで約15分。
- ・上信越自動車道から上越高田IC～高田城址公園内まで約15分。



上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7(高田城址公園内)
TEL: 025-524-3120 FAX: 025-522-7205
URL: <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>

